

2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業「イノベーション型プロジェクト」採択一覧

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択額 (千円)
1	一般社団法人日本花火推進協力会	「みんなの花火～障害者も健常者も一緒に楽しめる花火～」	北海道、秋田県、 東京都、愛知県、 他1県	令和元年7月～12月	オールジャパンで名人花火師が集い、障害者と共に創り、障害者も楽しめる花火を企画実施する。障害者、著名華道家、名人花火師の三者が創作する独創的な花火を全国5か所（北海道、秋田、東京、愛知、他1県）で披露し「多様性と調和」の一助になることを目指す。また、花火大会がインバウンド誘客のコアの観光資源となるべく、PR動画やホームページを駆使してインバウンド向け予約サイト、SNSなどで誘客する。	25,401
2	公益社団法人日本児童青少年演劇協会	障害者及び外国人等「共生社会」実現に向けての児童青少年演劇公演	北海道、埼玉県、 東京都、愛媛県、 三重県、兵庫県、 愛知県、広島県、 鳥根県、山口県、 大分県	令和元年6月19日～令和2年1月18日	「日本人と自然」「日本の美」を表出した作品、そして伝統・生活文化・自然等を融合させ、かつ新規性・創造性の高い作品を、全国に散在する児童青少年向けのプロフェッショナルな劇団の多数の作品の中から選定する。障害児（者）を中心に、子供・高齢者・外国人等、「共生社会」実現のための公演プロジェクトであり、全国18会場で公演する。また、「字幕スーパー」等を用いて外国人誘客を図る。	6,024
3	国立大学法人東京藝術大学	文化芸術による「東京2020復興支援プロジェクト」～次世代を担う若い力によるレガシー創出～	岩手県、宮城県、 福島県、東京都	令和元年6月6日～令和2年3月31日	東京2020組織委員会、東京都等との連携のもと、自然災害からの復興をテーマに、藝大生と被災地の中高生が協働し、仮設住宅のアルミ建材を再利用したモニュメントを制作。モニュメントは東京2020大会期間中、大会関連施設に設置し、大会後、選手のサインを付して被災地に移設する。モニュメントは文化観光・復興のシンボルとなり、それを軸に文化プログラムを持続的に展開し、誘客力がありインバウンド拡充にも資する拠点形成する。	8,273
4	幸せ出ずる国いわて実行委員会	ファンタスティック岩手—復興フェスティバル	岩手県	令和元年6月15日～令和2年3月31日	豊穡なる三陸の海や歴史的空間などのユニークベニューを活用し、復興の心の絆となった岩手の芸能の躍動を世界にアピールするとともに、遠野物語や賢治童話など世界的な文芸をテーマに名作アニメや人気声優とのコラボレーションで新たな芸術分野を創造する。時代を超え豊かな自然観に貫かれた岩手の文化をストーリー化し、インバウンド観光の新たなコンテンツと周遊コースを官民一体で開拓することで、復興する被災地・岩手を世界に発信する。	27,000
5	福島県	「SAMURAI SPIRIT × FUKUSHIMA PRIDE」	福島県	令和元年10月（予定）	一千余年の歴史ある「相馬野馬追」の騎馬武者が、非日常の空間を舞台に戦国絵巻を繰り広げるとともに、著名なデザイナーが伝統工芸に新たな息吹を与え現代ファッションと融合させた芸術性の高いプロジェクトを展開する。 また、福島県内に継承されてきた伝統工芸や武士道精神を体感できる場、郷土料理や日本酒を味わえる場を設け、福島県の奥深い文化の魅力を国内外に発信することにより、外国人観光客の拡充を図る。	16,322
6	群馬県戦略的文化芸術創造事業実行委員会	「日本の美」＝「日本の四季」を守り伝える —伝統と革新の舞台芸術プロジェクト—（仮称）	群馬県	令和元年9月7日～令和2年3月27日	群馬県に受け継がれる古代から近代に至る多彩な文化とその歴史文化遺産を活用し、「日本の美＝日本の四季」をテーマに、日本人が持つ自然に共鳴・共感する「心」を五感で体感できるプログラムを県内各地で展開する。群馬ならではの「歴史」と「空間」をプロジェクションマッピングなどの最新テクノロジーを駆使し、新たな文化芸術コンテンツを創造する。鉄道や旅行会社、DMOと連携し、事業の発信を行うことで誘客につなげる。	27,000
7	一般社団法人日本の節句文化を継承する会	節句 Japan FES（仮称）	埼玉県	令和元年6月～令和2年3月	日本の節句文化をより身近に楽しみながら体験してもらい、古くから自然と向き合いながら育んだ日本人の美德や文化薫る美しい日本文化を次世代に継承する為に行うプロジェクトである。アニメーション動画での多言語翻訳や会場内で多言語標識を設置することでインバウンドを促進する。AR・VRを取り入れ会場内で驚きとワクワク感を演出する多様なコンテンツを提供する。来場できない方にはネット配信などでバーチャルな体験機会を提供する。	15,412
8	公益財団法人角川文化振興財団	日本とバチカン文化交流プロジェクト—長崎の自然と文化体験コンテンツの創成（仮称）	長崎県、東京都	令和元年6月～令和2年3月31日	バチカンの史料に直接アクセスし、日本とバチカンの文化交流の全体像を初めて解明、歴史上海外との窓口を担ってきた長崎の教会建築などの文化遺産、キリスト教文化を育んだ自然の魅力を再発見する。その成果をもとに、外国人観光客にも楽しみやすいよう、4K等の高精細画像やAI等の最先端技術を用いた多言語対応、AR・VR等の疑似体験型コンテンツを創成する。訪日客を長崎に誘客するシンボジウムやツアーなどのプログラムを開発して世界に広く知らせる。	17,496

No.	組織・団体名	プロジェクト名	開催地	開催時期	概要	採択額 (千円)
9	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト Vol.3	東京都	令和元年8月20日～27日	落合陽一（演出）と日本フィルによる、センシング技術等のテクノロジーを活用しオーケストラ体験をアップデートする連続公演を行う。聴覚障害の有無に関わらずオーケストラを楽しむ《耳で聴かない音楽会2019》（東京オペラシティ）では視覚と聴覚の行き来する新たな音楽の聴き方・体験を提示する。《交錯する音楽会》（東京芸術劇場）ではデジタルとアナログ、日本と西洋、聴覚と視覚等が交錯しながら共感性を伴う音楽鑑賞機会を創出する。	27,000
10	浜離宮大江戸文化芸術祭2019実行委員会	浜離宮大江戸文化芸術祭2019	東京都	令和元年8月23日、24日、25日	東京に残る大名庭園として歴史的価値を有する浜離宮恩賜庭園を舞台とし、文化財の保存活用の効果を社会全体に波及させる観点から、インバウンドを含めた幅広い年齢層に訴求力を持つ大規模プロジェクトである。浴衣をテーマとしたパフォーマンス性の高いファッションフェス、江戸時代の香り漂う特別名勝・特別史跡の庭園空間に様々な文化芸能コンテンツを散りばめた、クリエイティブで新規性の高い総合文化芸術祭を開催する。	27,000
11	十日町市文化協会連合会	時を超えて、日本の美<国宝のある薪狂言>	新潟県	令和元年8月8日～9月20日	日本の文化の曙を示した国宝火焰型土器の自然の中で育まれた造形美（文化財）と600年の歴史の中で培われた能楽（舞台芸術）を融合させる複合事業であり、国宝火焰型土器と野村万作・萬斎氏が共演する事業である。国宝火焰型土器・王冠型土器の高精細レプリカの展示も行い、能舞台でも映像なども駆使した新しい視覚効果を導入する。地域（芸術祭、ホストタウン事業）と連動した情報発信を行い、外国人の誘客を図る。	3,600
12	「CONTACT/CONNECT展」実行委員会	CONTACT/CONNECTつなぐ・むすぶ 日本と世界のアート	京都府	令和元年9月1日～8日	ミュージアムの専門家3千人が世界中から集結するICOM（国際博物館会議）京都大会の機会を捉え、世界遺産・清水寺を会場に、互いに影響を与え合った世界と日本の近現代のアートがいかにかにコンタクトし発展してきたかを展覧する展覧会を開催する。作家・原田マハが作家転身後初めてのキュレーションを行い、清水寺史上初の本格的な美術展となる。また、通常非公開の三楽苑においても限定公開を行う。	27,000

2019年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業「イノベーション型プロジェクト」採択状況について

1. 採択合計額

227,528千円

2. 採択結果

応募件数 82件

採択件数 12件